

毛呂山町成人のつどい

～自分を見つめ 夢に向かって～



1/9 晴天のなか、ウイズ
もろやまで、第66
回毛呂山町成人のつどいが行
われました。
新成人の皆さんは、久しぶり
の友との再会に、喜びでいっぱい
な様子でした。
そして同時に、20歳の節目を
迎え、あの頃から見た目も心
も成長している友の姿を見
て、改めて自分自身を見つめ
直し、将来について考えたので
はないでしょうか。
そこで今回、代表で新成人
のこぼを述べた、毛呂山・
川角中学校卒業生のお二人に、
「将来の夢」、「中学時代か
らの変化」についてインタビュ
ーを行いました。



私の夢

毛呂山中学校卒業生
波辺 晴海 さん



私の夢は、作業療法士になって、1人でも多くの患者さんを助けることです。現在は、大学に通い、作業療法学や医療の基礎知識を学んでいます。聞き慣れない用語や、検査名に日々、苦戦していますが、友達と協力しながら勉強に励んでいます。また、これから努力していきたいこととして、コミュニケーション能力を向上させたいと思っています。医療従事者になるにあたり患者さんとの信頼関係を構築することが非常に大切になってくると思うので、学生のうちから、積極的に人と関わっていくなかで、コミュニケーション能力を向上させていきたいと思っています。

第66回

輝け 明日へ



私の変化

川角中学校卒業生
小沢芽生さん



中学生のときは将来のことなんてざっくり
としか考えられず、家族や友人との楽しい
時間やその瞬間のことしか頭になかった
ように思います。

しかし、高校や専門学校などを通して、
沢山のひとと出会い様々な価値観や考
え方にふれ、「今この瞬間」だけでなく、
「この先の長い未来」を考える時間
が増えたことが大きな変化だと思います。

令和3年度
新成人

対象年代

平成13年度生まれ

該当者数

341人

参加者数

241人



この日は、スーツや袴、色とりどりの着
物に身を包んだ新成人たち、241人
が集まりました。
今年も、体調記録表の提出や、マスク
着用、座席の間隔を空ける等、新型コ
ロナウイルス対策が施されるなかでの開
催となりましたが、久しぶりの友との再
会に、会場は笑顔で満たされていました。
そして、お互いに昔を懐かしみ、思い出
が溢れ、会話が尽きない様子でした。
また、近況を語り合いながら、将来につ
いて話し合ったり、当時に戻ったよう
にたわいもない会話を楽しんだり様々
な形でその瞬間を楽しんでいました。